

## 滋賀地域交通活性化協議会 令和7年度事業報告

令和7年度事業1～5の結果は以下のとおりでした。

### 1 現状分析及び将来予測の可視化

県内6地域毎に、より良い暮らしを実現するための施策（増便）の前後で学校や病院等へのアクセシビリティ評価を行い、施策実施における効果を可視化した。ワークショップ等での議論や施策検討における基礎資料として活用した。

### 2 ワークショップおよびフォーラムの開催

県内6地域を3地域毎にまとめ、7～8月に大津市および彦根市においてワールドカフェ方式のワークショップを開催し、68名の住民が参加した。地域毎の課題や取組を共有し、課題解決に向けた施策等について圏域目線で対話した。

また、12月にフォーラムを開催し、会場・webを合わせ340名以上が参加した。計画期間に取り組む事業やその実施にかかる財源に関して、webシステムを活用した参加者との意見交換を実施し、地域交通をみんなで支えることへの機運醸成に努めた。

### 3 施策メニューの検討および概算費用等の算出

施策と財源を一体で議論するため、施策に必要となる概算費用を算出した。また、地域交通が持つ多面的な効果（クロスセクター効果）についても算出し、フォーラム等において見える化して示した上で、公論熟議を重ねた。

### 4 滋賀地域交通活性化協議会および幹事会の開催

滋賀地域交通計画において目指す暮らしの姿、その実現に向けて取り組む事業等について議論し、検討するため、協議会および幹事会を開催した。市町および交通事業者とも連携しながら、より地域に最適化した持続可能な地域交通ネットワークの構築に向けて取り組んだ。

### 5 滋賀地域交通計画の作成

昨年度までの取組や、今年度実施した1～4の取組結果等を踏まえ、「滋賀地域交通計画（原案）」を取りまとめた。